

2/28・3/1

代表質問

代表質問は、新年度の予算を審議する議会において、会派の代表が、市長の市政執行方針および教育長の教育行政執行方針について、その所信を質すものです。

5つの会派すべてが代表質問を行い、その主なものを、要約して掲載しています。詳細は、6月上旬までにホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

公立はこだて未来大学のAI研究

公明党 茂木 修

質問 市でバックアップし、AIの街函館をめざすことについて所見を伺う。

答弁 大学は4月から未来AI研究センターを立ち上げ、企業との共同研究を進めるとしており、本市の基幹産業の振興発展に大きく関わることを期待し、市も取り組みを促進していきたい。

給付型奨学金制度

日本共産党 市戸 ゆたか

質問 重要性について認識を伺いたい。

答弁 貸与型は返済の遅れや不能となるケースの増加が課題である。給付型は教育の機会均等につながる有効な取組みの一つであるため、寄附金を活用し平成30年度以降の大学入学者を対象とした制度創設に向け準備している。

公営企業改革

市民クラブ 小野沢 猛史

質問 民間病院と連携し市立函館病院の規模等を縮小再編すべきではないか。

答弁 規模はすでに一定程度縮小されていると考えており、連携は高度急性期、急性期、回復期、慢性期という機能を役割分担するなかで、これまで以上に進めていきたいと考えている。

人口減少対策

民主・市民ネット 板倉 一幸

質問 減少幅をどう縮めていくか、重大な決意をもって取り組まなければ市民満足度も高まらないと思うがどうか。

答弁 経済をしつかり元気にしない限り、人口増加は難しく、一番可能性があるのは交流人口の拡大、観光などで、まずは集中的に力を入れたい。



3/14~3/16

個人質問

個人質問は、市の行政全般にわたって、市長をはじめとする執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すものです。

14人が個人質問を行い、その主なものを、要約して掲載しています。詳細は、6月上旬までにホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

学校給食費軽減の実施見通し

市政クラブ 能登谷 公

質問 給食費の軽減は、財政負担を伴うとしても、子育て支援として有効と考えるが、将来的に実施できないか。

答弁 学校給食費を軽減する場合、全て一般財源での負担となり、その負担は継続することになると考えられるため、実施は難しいものと考えている。

人口減少対策

民主・市民ネット 島 昌之

質問 各部署が個別に対応するには限界があるため、総合的に推進する部署を創設してはどうか。

答弁 長いスパンで取り組む必要があり、要因はどの部署にも関連するため、対策本部を設け集中的にやるといふよりは全部局挙げて取り組んでいきたい。

SDGs^{※3}についての市の認識

公明党 松宮 健治

質問 SDGs（持続可能な開発目標）についての市の認識を伺う。

答弁 昨年12月に国で決定した持続可能な開発目標実施方針に掲げられた「あらゆる人々の活躍の推進」など8つの優先課題と具体的な施策に基づき、各種の取り組みが進められる。

函館産コンブのブランド化

日本共産党 中嶋 美樹

質問 市が取り組もうとしているコンブのPR活動をさらに発展させ、ブランド化していく考えはないのか。

答弁 本市全ての漁協および市が函館の知名度を有効に活用した産地名産の協議を始めたところであり、その中でブランド化の取り組みも協議したい。

固定資産税の徴収について

市民クラブ 井田 範行

質問 過去10年間の課税誤りの発生状況について伺いたい。

答弁 過大徴収分が土地、建物ともに32件で、概ね所有者からの指摘のほか、本市の実地調査によるもので、徴収不足分が土地5件、建物24件で、ほとんどが実地調査により判明している。

町会の後継者不足対策

市政クラブ 藤井 辰吉

質問 町会対抗の運動会を提案するが、開催する場合、市ができる支援と開催意義についてどう考えるか。

答弁 イベント等開催の場合にどのような支援ができるか考えてみたい。若い人呼び込むのは大変重要であり、一つのアイデアとして面白みがある。

5 ※2 AI…人工知能 (Artificial Intelligence) の略称。
 ※3 SDGs…持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略称。世界全体の経済、社会及び環境等を持続可能とする為、全ての国連加盟国が2030年までに取り組む行動計画として2015年に国連総会で採択したもの。